

資料

タイ中等教育機関日本語教師が日本語アシスタントに求める資質 —第一回目調査報告—

古別府ひづる

はじめに

本研究では、世界の日本語学習者の半数以上を占める中等教育機関で、特にタイの中等教育機関の日本語教師が求める日本語アシスタント（以下、JA）の資質を明らかにすることを目的とする。

国際交流基金（2017）によると、世界の日本語学習者数の8割は東アジアと東南アジアである。現在、政府は、ASEAN諸国との連携を一層深めようとしており、国際交流基金では、日本語パートナーズプログラムより、ASEANの中等教育機関を中心にJAを派遣し、日本語普及と文化交流を推進している。うち、派遣者数が最も多い国はインドネシアで、次がタイである。インドネシアの学習者数に変動があるのに対し、タイは安定的に増加している。特に中等教育機関の学習者数が全体の7割近くを占め、顕著に拡大している。したがって、この地域における更なる学習者増加の方策としてJAの送り出しは妥当だと考えられる。

これまで、海外JAの資質研究はほとんどない。特に量的調査においては、英語圏の古別府（2018）以外に見られない。タイにおけるJAの資質を測定する尺度作成より、1）英語圏との比較が可能になる、2）JA派遣前の教育プログラムの作成、派遣中のサポート、派遣後の評価指標としての活用等が期待できる、などが可能になり、より意義深いJA派遣が期待できると考える。

1. 目的

タイ中等教育機関の日本語教師に対し、日本語アシスタントの資質についてアンケート調査を行い、尺度の開発を試みる。ただし、調査は始まったばかりで、本発表を第一回目の調査報告として位置づける。よって、考察までは行わず、分析の段階に留める。

2. 方法

(1) 質問紙の作成

古別府（2018）で用いた英語圏と同じ55の資質項目（表1）に、タイの中等教育機関の日本語教師が重要だと考えるJAの資質を3項目まで記入する欄を設けた。さらに、第一・第二言語、教育年数、JAの受入経験の有無、語学アシスタント経験の有無などを問う項目をフェースシートとして加えた。調査紙は日本語版（資料1）とタイ語版を作成し、バックトランスレーションを行った。

表1. 海外日本語アシスタントの55の資質項目

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分、他者、人生について楽観的である。 2. ユーモアのセンスがある。 3. 教案やシラバスなどカリキュラムに関する知識がある。 4. 世界経済・国際問題について幅広い知識がある。 5. 以前に、外国語学習の経験がある。 6. 楽しんで、アシスタントをしている。 7. 学習者をほめたり、励ましたりする。 8. 自立している。 9. 臨機応変である。 10. 学習者の間違いを適切に訂正することができる。 11. 異なる言語や文化に対する寛容性がある。 12. 暖かく、やさしく、思いやりがある。 13. 外交的で明朗である。 14. 日本語を一つの言語として客観的に分析できる。 15. 素直である。 16. 授業の目的を理解し、それに向かって前進できる。 17. 日本語話者（ネイティブ）であることを自覚して参加している。 18. 好奇心が強い。 19. 個々の学習者に対して適切に指導ができる。 20. 対人関係能力がある。 21. 折り紙や歌など日本文化を紹介する特技を持っている。 |
|--|

22. 標準的な日本語を話すことができる。
23. 勤勉である。
24. 学習者が間違っても、気まずい思いをさせたり、ばかにしたりしない。
25. 自分の考えを持ち、意思をしっかりと主張できるようにする。
26. 日本語アシスタントとしての立ち位置を認識している。
27. 日本語を正確、且つ流暢に使うことができる。
28. 学習者を平等に扱う。
29. 教師や生徒を尊重する。
30. ネイティブスピーカーであるがゆえのデメリット（話せるが、説明できない）を自覚している。
31. やりとりを通して学習者から答えを導き出すことができる。
32. 教室内外で英語が不自由なく使える。
33. 日本人を代表した存在であることを自覚している。
34. 教えることに熱心である。
35. 話すことが好きである。
36. 学習者の感情を受け入れる。
37. ゲームやパワーポイント等副教材の作成や視聴覚教具を進んで用いる。
38. 日本語教育に興味を持っている。
39. 日本語教員に関する資格を取得中あるいは持っている。
40. アシスタントとしての実務能力がある（例：正確、時間を守るなど）
41. 協調性がある。
42. 学習者に日本語で話すことを促す。
43. 大きな忍耐力がある。
44. 目標文化（日本の文化）と学生の文化との違いに敏感であること。
45. 日本文化・習慣・歴史について幅広い知識がある。
46. 率先してすべき仕事が見つけられる。
47. 学生と先生からのフィードバックを受け入れる。
48. インターネットを使って、学習資料が見つけられる。
49. 堂々としている。
50. 話しかけやすく友好的である。
51. 創造性がある。
52. 学習者の母語（又は英語）で説明することができる。
53. 日本の現在の様子をよく理解している。
54. 教室において学習者に規律を守らせる。
55. 謙虚である。

(2) 調査期間

2019年10月初めから10月末にかけ調査を行った。

(3) 手続き・倫理的配慮

タイの中等教育機関351機関に質問紙を郵送した。

調査への協力依頼とともに質問紙を配布し、郵送による依頼調査で行った。協力依頼には、調査結果は統計処理され個別情報は残らないこと、また、研究の目的以外には使用せず、国内外の学会・研究会等での発表や論文発表などを通じて成果を還元することを記した。質問紙への回答及び投函をもって研究参加の同意を得たものとし、協力しない場合でも不利益は受けないようにした。協力依頼及びアンケートの質問内容に関しては、筆者の所属大学の生命倫理規定に基づく審査を受け、了承を得た。回収は、タイに取りまとめ役を置き、まとめ役の住所に郵送されてきたものを、一括して郵送で調査者に返送してもらった。

3. 結果と分析

84名の回答が得られた。有効回答数は81名で、内訳は以下（表2）の通りである。尚、第一回目調査では、サンプル数が少なかったため、因子分析を行わず、項目ごとの分析にとどめる。

表2 調査協力者の内訳

母語	タイ語	64
	日本語	16
教育年数	5年未満	37 (J9 + T28)
	5年以上	42 (J3 + T39)
	回答なし	1 (J1)
日本語アシスタント受入経験	有	40 (J5 + T35)
	無	35 (J3 + T32)
	回答なし	5 (J5)
語学アシスタント経験	有	16 (J7 + T9)
	無	50 (J4 + T45)
	回答なし	15 (J2 + T13)
計		80

(注) J=日本語母語話者 T=タイ語母語話者

3-1 記述統計

記述統計結果を以下に示す。

表3 記述統計結果

	<i>n</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>	skew	kurtosis
TP1	81	1.28	1.89	-0.85	-0.46
TP2	81	1.11	1.63	-0.76	-0.29
TP3	81	0.9	1.74	-0.47	-0.78
TP4	81	0.22	1.64	-0.37	-0.93
TP5	81	0.43	1.75	-0.25	-0.99
TP6	81	1.99	1.38	-1.63	2.36
TP7	81	1.94	1.36	-1.47	1.46
TP8	81	1.07	2.07	-0.74	-0.79
TP9	81	1.17	1.99	-0.93	-0.35

	<i>n</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>	skew	kurtosis
TP10	81	1.14	1.79	-0.82	-0.38
TP11	81	1.41	1.93	-1.01	-0.18
TP12	81	1.73	1.61	-1.35	1.07
TP13	81	1.57	1.64	-1.02	0.15
TP14	81	1.52	1.7	-1.07	0.27
TP15	81	1.52	1.61	-1.09	0.45
TP16	81	1.62	1.55	-1.16	0.49
TP17	81	1.69	1.55	-1.04	0.04
TP18	81	1.8	1.44	-0.99	-0.37
TP19	81	1.35	1.61	-1.05	0.45
TP20	81	1.32	1.99	-1.01	-0.32
TP21	81	1.52	1.75	-1.27	0.5
TP22	81	1.7	1.6	-1.23	0.64
TP23	81	2.06	1.29	-1.57	1.87
TP24	81	1.88	1.73	-1.68	1.85
TP25	81	1.43	1.66	-1.09	0.46
TP26	81	1.72	1.64	-1.35	1.02
TP27	81	1.64	1.63	-1.18	0.57
TP28	81	1.91	1.52	-1.36	1.14
TP29	81	1.96	1.59	-1.77	2.52
TP30	81	1.28	1.62	-1.05	0.34
TP31	80	1.4	1.57	-0.98	0.24
TP32	81	0.06	1.87	-0.17	-1.05
TP33	81	1.43	1.72	-0.95	-0.2
TP34	81	2.07	1.44	-1.77	2.39
TP35	81	1.77	1.65	-1.46	1.39
TP36	81	1.72	1.46	-1.22	0.87
TP37	81	1.58	1.75	-1.23	0.47
TP38	81	1.79	1.58	-1.37	1.03
TP39	80	0.94	1.78	-0.65	-0.25
TP40	81	1.65	1.8	-1.26	0.56
TP41	81	1.75	1.74	-1.41	0.98
TP42	81	1.98	1.53	-1.54	1.53
TP43	81	1.7	1.82	-1.23	0.21
TP44	81	1.36	1.92	-0.96	-0.28
TP45	81	1.19	1.68	-0.87	0.05
TP46	80	1.27	1.71	-0.81	-0.13
TP47	80	1.55	1.64	-1.15	0.57
TP48	81	1.59	1.66	-1.38	1.07
TP49	81	1.51	1.59	-0.85	-0.15
TP50	81	1.69	1.64	-1.28	0.87
TP51	81	1.52	1.68	-1.07	0.26
TP52	81	0.43	1.88	-0.23	-0.95
TP53	81	1.15	1.7	-0.89	-0.14
TP54	81	1.3	1.64	-0.96	0.24
TP55	81	1.59	1.72	-1.27	0.84

(注1) 表3のTP1～TP55は表1の55項目に対応する。

(注2) 未回答データを含む項目は $n = 80$ になる。

- ・平均値が1.90以上は、TP6, TP7, TP23, TP28, TP29, TP34, TP42である。うち、TP6, TP23, TP29, TP34, TP42は、skew (歪度) が1.50以上で、TP6, TP29, TP34は、kurtosis (尖度) が2.0以上であった。恐らく、これらの項

目は、平均値に天井効果がみられると考えられる。

- ・平均値が1.0未満のものは、TP3, TP4, TP5, TP32, TP39, TP52であった。

3-2 分散分析

(1) 母語話者教師と非母語話者教師

母語話者教師と非母語話者教師において、有意差があったのは、以下の項目である。

<.001: TP2, TP4, TP7, TP16, TP34, TP38, TP42

<.000: TP3, TP10, TP14, TP17, TP23, TP32, TP40, TP49

(2) JAの受け入れ経験

有意差があったのは、以下の項目である。

<.05: TP7, TP32,

<.005: TP49

(3) 語学アシスタント経験

どの項目にも有意差はなかった。

(4) 教育年数

以下の項目に有意差があったが、1)～4) (注)のどこにあるかまでは分からなかった。

<.05: TP34, TP48, TP52

(1) から (4) の結果より、(1) の母語話者教師と非母語話者教師において、最も項目の差が表れていると考えられる。

課題

第一回目のデータが少なかったため、因子分析までに至らなかった。今後、サンプル数を増やす必要があり、そのための方策として、タイの中等教育機関のウェブサイトより、オンラインアンケートを実施したいと考える。

注

資料1の「(2) あなた自身について」の「2. 教職年数」の1)～4)に相当する。

引用文献

- (1) 国際交流基金(2017)『海外の日本語教育の現状 2015年度日本語教育機関調査より』
<<https://www.jpfi.go.jp/j/project/japanese/survey/result/survey15.html>> (2017年5月22日)
- (2) 古別府ひづる(2018)『英語圏中等教育機関日本語教師が日本語アシスタントに求める資質—語学アシスタント経験の有無が日本語教師の意識に及ぼす影響についての検討—』日本語教育学会170号

資料 1

タイ中等教育機関における日本語アシスタントの資質に関する国際調査

山口県立大学国際文化学部 日本語教員養成課程 主任 古別府ひづる

この調査の目的は、タイの日本語教師の立場から、タイ中等教育機関の日本語アシスタントが備えるべき行動特性・態度(良い日本語アシスタントは学校内の、主に教室で何をしているかということ)という観点から調べることです。アンケート用紙は、(1)良い日本語アシスタントについて、(2)あなた自身について、の2部構成です。所要時間は約20分です。

(1) 良い日本語アシスタントについて

以下の日本語アシスタントの資質項目において、それぞれの項目と「異文化対応能力」と比較して、どの程度重要ですか。-3~+3の数字を一つ、選んでください。

・「日本語アシスタント」の定義

日本語母語話者で、資格を持った教師の下で補助的な役割を果たす者。

・「異文化対応能力」の定義

文化的、言語的そして世代背景の異なる人々と好ましい関係を持ち、個人にとって意味のある生活を可能にするための能力や資質。

・「異文化対応能力」のほうが、当該項目よりもずっと重要である。

⇒ -3

・「異文化対応能力」のほうが、当該項目よりも重要である。

⇒ -2

・「異文化対応能力」のほうが、当該項目よりも少し重要である。

⇒ -1

・当該項目と「異文化対応能力」は、同じくらい重要である。

⇒ 0

・当該項目のほうが、「異文化対応能力」よりも少し重要である。

⇒ +1

・当該項目のほうが、「異文化対応能力」よりも重要である。

⇒ +2

・当該項目のほうが、「異文化対応能力」よりもずっと重要である。

⇒ +3

1. 自分、他者、人生について楽観的である。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
2. ユーモアのセンスがある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
3. 教案やシラバスなどカリキュラムに関する知識がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
4. 世界経済・国際問題について幅広い知識がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
5. 以前に、外国語学習の経験がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
6. 楽しんで、アシスタントをしている。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
7. 学習者をほめたり、励ましたりする。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
8. 自立している。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
9. 臨機応変である。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
10. 学習者の間違いを適切に訂正することができる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
11. 異なる言語や文化に対する寛容性がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
12. 暖かく、やさしく、思いやりがある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
13. 外交的で明朗である。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
14. 日本語を一つの言語として客観的に分析できる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
15. 素直である。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
16. 授業の目的を理解し、それに向かって前進できる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
17. 日本語話者(ネイティブ)であることを自覚して参加している。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3

18. 好奇心が強い。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
19. 個々の学習者に対して適切に指導ができる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
20. 対人関係能力がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
21. 折り紙や歌など日本文化を紹介する特技を持っている。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
22. 標準的な日本語を話すことができる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
23. 勤勉である。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
24. 学習者が間違っても、気まずい思いをさせたり、ばかにしたりしない。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
25. 自分の考えを持ち、意思をしっかりと主張できるようにする。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
26. 日本語アシスタントとしての立ち位置を認識している。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
27. 日本語を正確に、且つ、流暢に使うことができる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
28. 学習者を平等に扱う。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
29. 教師や生徒を尊重する。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
30. ネイティブスピーカーであるがゆえのデメリット(話せるが、説明できない)を自覚していること。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
31. やりとりを通して学習者から答えを導き出すことができる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
32. 教室内外で英語が不自由なく使える。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
33. 日本人を代表した存在であることを自覚している。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
34. 教えることに熱心である。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
35. 話すことが好きである。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
36. 学習者の感情を受け入れる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
37. ゲームやパワーポイント等副教材の作成や視聴覚教具を選んで用いる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
38. 日本語教育に興味を持っている。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
39. 日本語教員に関する資格を取得中あるいは持っている。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
40. アシスタントとしての実務能力がある(例: 正確、時間を守るなど)
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
41. 協調性がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
42. 学習者に日本語で話すことを促す。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
43. 大きな忍耐力がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
44. 目標文化(日本の文化)と学生の文化との違いに敏感であること。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
45. 日本文化・習慣・歴史について幅広い知識がある。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
46. 率先してすべき仕事が見つけられる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
47. 学生と先生からのフィードバックを受け入れる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
48. インターネットを使って、学習資料が見つけられる。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
49. 堂々としている。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3
50. 話しかけやすく友好的である。
□-3 □-2 □-1 □0 □+1 □+2 □+3

51. 創造性がある。
-3 -2 -1 0 +1 +2 +3
52. 学習者の母語(又は英語)で説明することができる。
-3 -2 -1 0 +1 +2 +3
53. 日本の現在の様子をよく理解している。
-3 -2 -1 0 +1 +2 +3
54. 教室において学習者に規律を守らせる。
-3 -2 -1 0 +1 +2 +3
55. 謙虚である。
-3 -2 -1 0 +1 +2 +3
56. さらに、あなた自身が考えるいい日本語アシスタントの特性があれば記入して、程度を選んでください。

56-1-a 特性1

56-1-b 特性1の程度

- 3 -2 -1 0 +1 +2 +3

56-2-a 特性2

56-2-b 特性2の程度

- 3 -2 -1 0 +1 +2 +3

56-3-a 特性3

56-3-b 特性3の程度

- 3 -2 -1 0 +1 +2 +3

(2)あなた自身について

【日本語ネイティブ教師・ノンネイティブ教師共通】

1. 第一言語

- 1) タイ語 2) 日本語 3) その他

2. 教職年数

- 1) 3年未満
2) 3年以上～5年未満
3) 5年以上～10年未満
4) 10年以上

3. 今までに日本語アシスタントを受け入れたことがありますか。

- 1) はい、今後も受け入れたい
2) いいえ、今後は受け入れたい
3) いいえ、今後も受け入れるつもりはない
4) はい、ただし、今後は受け入れるつもりはない
- 3で1) 「はい、今後も受け入れたい」と答えた人は3-1へ。
 2) 「いいえ、今後は受け入れたい」と答えた人は3-2へ。
 3) 「いいえ、今後も受け入れるつもりはない」と答えた人は3-3へ。
 4) 「はい、ただし、今後は受け入れるつもりはない」と答えた人は3-4へ。

3-1-a. 日本語アシスタントを受け入れた期間(複数回答可)

- 1) 1か月未満
2) 1か月以上～3か月未満
3) 3か月以上～半年未満
4) 半年以上～1年未満
5) 1年以上～2年未満
6) 2年以上

3-1-b. 受け入れた日本語アシスタントの年齢(複数回答可)

- 1) 20歳前後(日本の若者文化を代表する年代)
2) 22歳～24歳(大学卒業年齢)
3) 25歳～29歳(大学卒業後に社会経験を有する年代)
4) 30代～40代
5) 50代～60代

3-1-c. 日本語アシスタントを受け入れたい理由を書いてください。

3-1-d. 日本語アシスタントを受け入れたプログラム名があれば書いてください。(例:日本語パートナーズ)

3-2-a. 日本語アシスタント希望受け入れ期間(複数回答可)

- 1) 1か月未満
2) 1か月以上～3か月未満
3) 3か月以上～半年未満

4) 半年以上～1年未満

5) 1年以上～2年未満

6) 2年以上

3-2-b. 日本語アシスタントの希望年齢(複数回答可)

- 1) 20歳前後(日本の若者文化を代表する年代)
2) 22歳～24歳(大学卒業年齢)
3) 25歳～29歳(大学卒業後に社会経験を有する年代)
4) 30代～40代
5) 50代～60代

3-2-c. 日本語アシスタントを受け入れたい理由を書いてください。

3-3. 日本語アシスタントを受け入れるつもりはない理由を書いてください。

3-4-a. 日本語アシスタントを受け入れた期間(複数回答可)

- 1) 1か月未満
2) 1か月以上～3か月未満
3) 3か月以上～半年未満
4) 半年以上～1年未満
5) 1年以上～2年未満
6) 2年以上

3-4-b. 受け入れた日本語アシスタントの年齢(複数回答可)

- 1) 20歳前後(日本の若者文化を代表する年代)
2) 22歳～24歳(大学卒業年齢)
3) 25歳～29歳(大学卒業後に社会経験を有する年代)
4) 30代～40代
5) 50代～60代

3-4-c. 日本語アシスタントを受け入れるつもりはない理由を書いてください。

3-4-d. 日本語アシスタントを受け入れたプログラム名があれば書いてください。(例:日本語パートナーズ)

4. 語学アシスタントの経験がありますか。

- 1) はい 2) いいえ

4で、1) はい、と答えた人は4-1へ。

4-1-1. どの言語ですか。

- 1) 英語 2) 日本語 3) タイ語 4) その他

4-1-2. 期間はどのくらいですか。

- 1) 約1年 2) 約2年 3) 3年以上

5. 日本語教師と日本語アシスタントとはどのように違うと思いますか。

6. 日本語アシスタントがいたら可能になることはどんなことだと思いますか。

7. 日本語アシスタントがいたら逆に困ることはどんなことだと思いますか。

【日本語ノンネイティブ教師のみ】

8. 日本語能力試験は何級を持っていますか。

- 1) N1 2) N2 3) N3
4) N4 5) N5 6) 受験していない

ご協力ありがとうございました。

論文などにまとめた調査結果をご希望の場合は、お知らせください。

*PDFでご希望の場合:ご氏名とEメールアドレスをお知らせください。

氏名:

Eメールアドレス:

